

薬剤部からのお知らせ



2024 No.37

薬剤部 2024年8月30日発行

ヘパリンNaロック用シリンジの適正使用と、 生食注シリンジの払い出し数の定数化に関するお願い

原則、ヘパリンNaロックの末梢静脈カテーテルへの使用を避けるよう、ご協力お願いいたします。

現在の院内におけるロック用シリンジ製剤の選択方針

	ヘパリンNaロック	生食ロック
中心静脈カテーテル	○	×
閉鎖式ではない末梢静脈カテーテル	○	×
閉鎖式末梢静脈カテーテル	×	○

これまで周知しましたように、『ヘパリンNaロック用10単位/mLシリンジ「オーツカ」10mL』及び『生食注シリンジ「オーツカ」10mL』が限定出荷の状態となっており、これに対し、薬剤部からのお知らせNo17にて、ヘパリンNaロックの使用を、可能な限り生食注シリンジへ変更し、ヘパリンロックの使用量を削減するようお願いしておりました。

しかしながら、依然としてヘパリンNaロックの在庫が非常にひっ迫しており、さらなるヘパリンNaロックの適正使用及び使用量削減を目指し、8/9～8/18にかけて、「ヘパリンNaロックシリンジの使用状況調査」を実施いたしました。

その結果、一部の部署において、末梢静脈カテーテルに対するヘパリンNaロックの使用が行われていることが判明しました（カテーテル挿入時に使用：回答者数18名、カテーテル留置時に使用：回答者数42名、ルートフラッシュ時に使用：回答者数29名）。**原則、ヘパリンNaロックの末梢静脈カテーテルへの使用を避けるよう、ご協力お願いいたします。**

加えて、生食注シリンジに関しては、今後院内使用量が供給を上回ることが確実となっており、9月12日より院内各部署に対する薬剤部の払い出し数量を定数化し、不足分に関しては各部署にて『大塚生食注20mL』からシリンジへ充填し使用する予定とさせていただきます。詳細に関しましては、続報にて周知させていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

裏面へ



【ロック用シリンジ製剤の対応】

ヘパリンNaロック用10単位/mL シリンジ「オーツカ」 10mL	生食注シリンジ「オーツカ」 10mL
在庫ひっ迫	在庫ひっ迫
可能な限り生食注シリンジへ変更	9月12日より薬剤部からの払い出し数定数化
	  不足時、プラスチックアンプル製剤 からシリンジへ充填し使用 

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。（文責：石田）